

# 令和5年度和歌山市立鳴滝小学校スクールプラン

校長 藪本 みゆき

作成日 令和5年4月13日

## 和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

## 【学 校 教 育 目 標】

最後まであきらめずによく考え、  
感謝の気持ちを忘れず、心身共に健やかな子供の育成  
～知育・徳育・体育のバランスを大切にしながら生きる力を培うことを目指して～

## 前年度の学校評価

- ・異学年と関わり合う機会が多くなるので互いを大切に敬えるようになってほしい
- ・愛情をもって安心安全を与え、一貫性を持ち、時には毅然とした態度で真摯に向き合い接していくことも大切なことである

## 保護者・地域の願い

- ・少人数対応である特性を生かし、特に低学年のうちに基礎学力をしっかりとつけていけるようにしてほしい
- ・誰かが困っているときに自ら考え、進んで手を差し伸べられるような心を育ててもらいたい
- ・家庭がそれぞれであっても正しい生活習慣が身につけていける取組を日々継続していただきたい

## 【めざす児童像】

- 1、何事もあきらめず、最後まで自分で考える子供
- 2、相手の気持ちを考え、常に感謝の気持ちをもつ子供
- 3、意欲的に活動し、心も体も健康な子供

## 児童の実態

- ・学校が楽しいと感じる児童が多い
- ・元気よく学習や活動ができる
- ・言葉遣いやルールを守ることに對して課題がみられる

### 重点目標

#### 確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな学力
- ◎児童主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

#### 豊かな心の育成

- ◎人権教育を推進すると共に、人権意識の高揚に努める
- ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実

#### 健やかな体の育成

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 危機回避能力の育成
- 人間の体を知る

#### 地域に開かれた学校

- ◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を行う
- 「学校だより」やホームページでの情報発信を継続
- 地域の養護施設を知る

### 具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る
- 「昼学」の時間をしっかり活用し、基礎学力の定着を図る
- 自分の考えを発表できる授業づくりを目指す
- 保護者の協力のもと家庭学習の定着を図る
- 必ず「なるたきタイム」の時間を確保し、読書を習慣づける

- 保護者と児童のよさを共有しながら児童を心豊かに育てる
- 「特別の教科 道徳」で児童が考え話し合う活動を大切にする
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険についての指導を促進する
- 各行事において児童が主体的に係わる機会をもつ

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨
- 体育科の中で活動時間を多く取り入れられるように工夫する
- 縦割りグループでの運動を計画的に実施する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る

- 児童の少しでも良い様子を伝え、保護者の子育てや教育に対する意識を高める
- 地域の方々と一緒に花を育てる活動を通して環境整備を促進する
- 地域活動に参加し、地域との交流を推進する
- 地域の養護施設を見学し、実態を把握する
- 「学校だより」を地域回覧すると共に児童の活動様子をホームページで発信する

### 指標

- ・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正当数の県平均値を上回る
- ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)

- ・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上)
- ・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)

- ・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童90%以上)
- ・体力テストの平均値は県平均値以上を目指す

- ・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上)
- ・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)

◎：特に重点的に取り組むこと